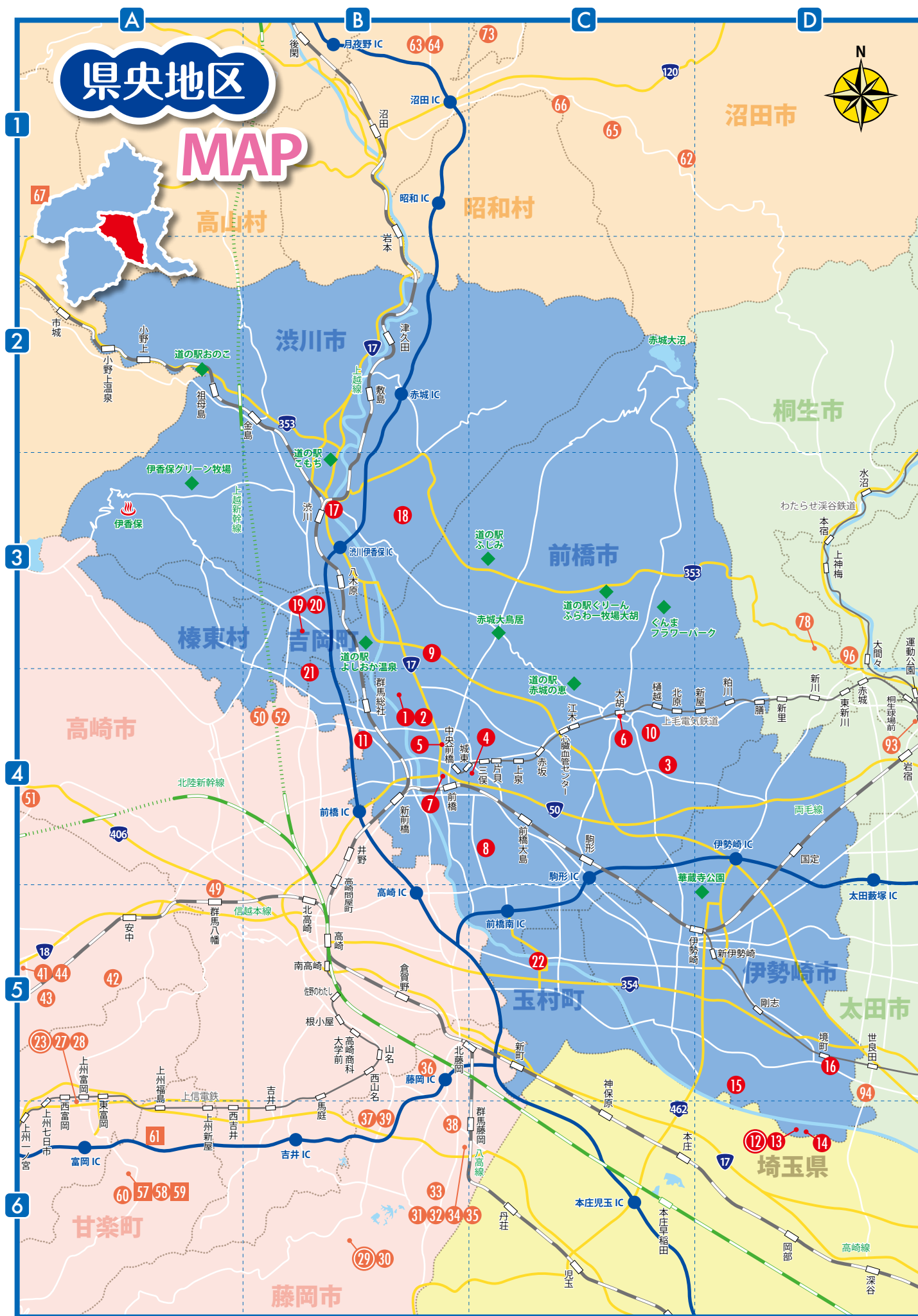
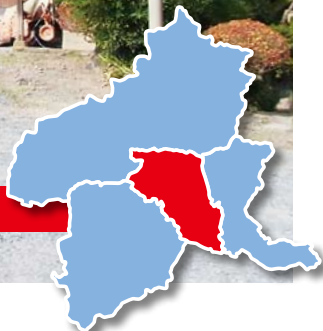


MAP



県央地区

Kenou Area



3

前橋市重要文化財【養蚕】

きゅうせきねけじゅうたく

旧関根家住宅



旧関根家住宅は、赤城南麓に多くみられた典型的な養蚕農家で、赤城型民家と呼ばれています。屋根裏で蚕を飼うために光と風が取り入れやすいように、正面の屋根の中央部を切り落とされているのが大きな特徴です。

- 場所／前橋市西大室町2510(大室公園内)
- 交通／JR両毛線前橋駅からバス約50分
北関東自動車道駒形ICから約15分
- 見学／4～11月 木・日・祝
12～3月 土・日・祝(年末年始休館)
- 問／前橋市文化財保護課 TEL 027-280-6511



4

国登録有形文化財【製糸】

はぎわらけじゅうたく

萩原家住宅



萩原家は前橋市内で製糸業を営み栄えた家です。住宅敷地にある旧蔵は、繭を収めた倉庫で比較的大きな土蔵で良質の材を用いた丁寧な作りになっており、地域一帯の歴史を物語る上で貴重な存在です。

- 場所／前橋市朝日町
- 交通／JR前橋駅から車約10分
関越自動車道前橋ICから約15分
- 見学／個人宅のため、非公開
外観のみ見学可
- 問／前橋市文化財保護課 TEL 027-280-6511



1

県重要文化財【教育・研究】

旧蚕糸試験場事務棟(蚕糸記念館)



この建物は、明治45年(1912)に国立原蚕種製造所前橋支所事務棟として、現在の前橋市昭和町に建てられ、昭和55年(1980)まで蚕糸試験場として使われました。玄関の柱や天井飾りに特徴を持つ明治末期の代表的な洋風木造建築物です。

- 場所／前橋市敷島町262(敷島公園ばら園内)
- 交通／JR両毛線前橋駅からバス約20分+徒歩約5分
関越自動車道前橋ICから約15分
- 見学／4月～11月の土・日・祝日のみ開館。(ばら園まつりの間は連日開館)
詳細は問い合わせのこと。
- 問／前橋市文化財保護課 TEL 027-280-6511



2

国登録有形民俗文化財【製糸・養蚕】

前橋の養蚕・製糸用具及び関連資料



前橋市内で使用された江戸時代後期～昭和初期までの養蚕・製糸用具と、養蚕信仰関係及び国立原蚕種製造所関係など633点の資料です。地域の生業の様子と変遷をよく示すもので、蚕糸記念館で展示されています。

- 場所／前橋市敷島町262(敷島公園ばら園内)
- 交通／JR両毛線前橋駅からバス約20分+徒歩約5分
関越自動車道前橋ICから約15分
- 見学／4月～11月の土・日・祝日のみ開館。(ばら園まつりの間は連日開館)
詳細は問い合わせのこと。
- 問／前橋市文化財保護課 TEL 027-280-6511



5

国登録有形文化財【流通】

旧安田銀行担保倉庫



旧安田銀行担保倉庫は、大正2年(1913)に建築された生糸担保倉庫で、大規模なレンガ倉庫として創建当初の姿を今に伝えています。製糸業が盛んであった「生糸の町前橋」の歴史を伝える貴重な近代化遺産です。

- 場所／前橋市住吉町2-10-2
- 交通／JR前橋駅から車約10分
関越自動車道前橋ICから約15分
- 見学／外観のみ見学可
- 問／前橋市文化財保護課 TEL 027-280-6511



6

国登録有形文化財【流通】

上毛電気鉄道(大胡駅舎ほか)



- 場所／前橋市茂木町30-2 他
- 交通／(写真:大胡駅) JR駒形駅から車約19分
北関東自動車道駒形ICから約21分
- 見学／駅舎等の見学は利用客に要配慮
- 問／上毛電気鉄道株式会社 TEL 027-231-3597

上毛電気鉄道は、生糸の町前橋から機業地桐生へ生糸を運び、県の基幹産業の絹産業の発展に大きく貢献しました。昭和3年(1928)11月に伊勢崎を経由しない上毛電気鉄道中央前橋～西桐生間25.4kmの営業開始により、両毛線と比べ所要時間が大幅に短縮されました。



7

国登録有形文化財【流通】

旧勝山社煉瓦蔵



- 場所／前橋市本町2-3-8
- 交通／JR前橋駅から徒歩約15分、車約5分
関越自動車道前橋ICから約10分
- 見学／貸店舗として活用されているため、訪問時は利用客に要配慮
- 問／前橋市文化財保護課 TEL 027-280-6511

製糸業・織物業で栄えた勝山社の倉庫として明治36年(1903)に建造されました。その後、幾つかの銀行が所有し、主に生糸の保管倉庫として活用されました。生糸の町として栄えた前橋市を象徴する貴重なレンガ造の建造物です。



8

前橋市重要無形民俗文化財【養蚕】

春日神社太々神楽



- 場所／前橋市上佐鳥町368
- 交通／JR前橋駅から車約10分
北関東自動車道前橋南ICから約5分
- 見学／祭礼日5月3日
- 問／前橋市文化財保護課 TEL 027-280-6511

前橋の春日神社で、5月3日の祭礼の日に奉納される豊蚕を祈願する太々神楽です。1組の夫婦と2人の下男が養蚕の様子を演じ、養蚕が盛んであった前橋周辺の農民の姿を生き生きと表現しています。



9

県史跡【養蚕】

船津伝次平の墓



- 場所／前橋市富士見町原之郷乙539
- 交通／JR両毛線前橋駅からバス約20分+徒歩約15分
関越自動車道前橋ICから約20分
- 見学／墓参り可能
- 問／前橋市文化財保護課 TEL 027-280-6511

船津伝次平(1832～1898)は日本三老農の一人です。養蚕の基本である桑の栽培の研究をし、「桑苗簾伏法」を出版したのをはじめ、農業全般の近代化に貢献し、駒場農学校(現東京大学農学部)の教官となりました。



10

【養蚕】

紺周郎神碇



- 場所／前橋市上大屋町298
- 交通／JR前橋大島駅から車約30分
北関東自動車道駒形ICから約30分
- 見学／随時見学可
- 問／前橋市文化財保護課 TEL 027-280-6511

「薪火育」法(いぶし飼い)を考案し、養蚕技術の改良と普及に尽力した永井紺周郎を称えた碑です。明治21年(1888)3月に地元の人々だけでなく宮城村、荒砥村、波志江村の人々まで参加して建立したものとされています。



11

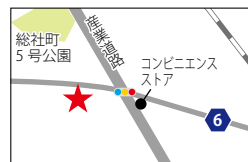
【教育・研究】

群馬県蚕糸技術センター



- 場所／前橋市総社町総社2326-2
- 交通／JR前橋駅から車約15分
関越自動車道前橋ICから約15分
- 見学／群馬県民の日(10月28日)に限り一般公開
- 問／群馬県蚕糸技術センター TEL 027-251-5145

養蚕技術の発展のため、明治31年(1898)に設立した農事試験場蚕桑部を前身とし、数度の組織改正を経て、平成19年(2007)に蚕糸技術センターとなりました。遺伝子組換えカイコ実用化研究、群馬オリジナル蚕品種の性状維持・蚕種製造等を行い、付加価値の高い蚕糸業を目指しています。



12 世界遺産 国史跡 【養蚕】

たじまやへいきゅうたく
田島弥平旧宅



- 場所／伊勢崎市境島村字新地2243
- 交通／JR伊勢崎駅から車約22分
関越自動車道本庄児玉ICから約20分
- 見学／見学可能範囲は庭および桑場1階まで。建物内部は立入禁止。団体は要予約。
- 問／田島弥平旧宅案内所 TEL 0270-61-5924

通風を重視した蚕の飼育法「清涼育」を大成した田島弥平が、文久3年(1863)に建てました。住居兼蚕室の主屋は、間口約25m、奥行き約9mの2階建てです。主屋は風通しを考え、屋根に換気用の越屋根を付けた瓦葺総二階建てであり近代養蚕家屋の原点となった建物です。



13 【養蚕】

たじまやへいひ
田島弥平の碑



- 場所／伊勢崎市境島村(田島弥平旧宅隣接)
- 交通／JR伊勢崎駅から車約22分
関越自動車道本庄児玉ICから約20分
- 見学／随時見学可
- 問／田島弥平旧宅案内所 TEL 0270-61-5924

石碑は田島弥平の娘の民が、父の功績を後世に残すため明治27年(1894)に建てたものです。弥平による清涼育の実践と普及、宮中御養蚕、海外博覧会受賞や叙勲など、弥平の養蚕業における業績が漢文で記されています。



14 国登録有形文化財 【養蚕】

にほんきりすときょうだん しまむらきょうかいきょうかいどう しまむらほいくえんほんかん
日本基督教団 島村教会教会堂・島村めぐみ保育園本館



- 場所／伊勢崎市境島村2509-2
- 交通／JR伊勢崎駅から車約25分
東武伊勢崎線境町駅から車約15分
関越自動車道本庄児玉ICから約15分
- 見学／外観は随時見学可 内部は団体のみ対応
- 問／伊勢崎市文化財保護課 TEL 0270-75-6672

島村教会は、蚕種業者の田島善平らが蚕種の輸出で横浜に行った際にキリスト教にふれ、明治30年(1897)に現在の場所に建築されました。洋風の意匠で半切妻の屋根とハーフトンパー風の玄関が特徴となっています。



15 国登録有形文化財 【養蚕】

こもだけじゅうたく
小茂田家住宅



- 場所／伊勢崎市長沼町2631
- 交通／JR伊勢崎駅から車約25分
東武伊勢崎線境町駅から車約15分
関越自動車道本庄児玉ICから約15分
- 見学／個人宅のため、非公開 外観のみ見学可
- 問／伊勢崎市文化財保護課 TEL 0270-75-6672

蚕種・養蚕の先駆的指導者で長沼組を興した小茂田藤橘が、養蚕伝習所「親仁館」として活用した建物です。屋根には換気窓である3つの越屋根があり、養蚕・蚕種製造が盛んだった頃の歴史的景観を保持しています。



16 【流通】

さかいあかれんが そうこ
境赤煉瓦(レンガ)倉庫



- 場所／伊勢崎市境765-1
- 交通／東武伊勢崎線境町駅から徒歩2分
- 見学／外観のみ見学可
- 問／伊勢崎市文化観光課 TEL 0270-27-2758

境では明治43年(1910)に東武鉄道が開通し、生繭、干繭などが貨物として取り扱われました。境赤煉瓦(レンガ)倉庫は、大正8年(1919)に境運輸倉庫株式会社の倉庫として建設されました。鉄道での搬送を前提として、駅周辺に繭の保管庫を建設したものです。



17 県天然記念物 【養蚕】

しもごう おお
下郷の大クワ



- 場所／渋川市渋川1274
- 交通／JR上越線渋川駅から徒歩約10分
関越自動車道渋川伊香保ICから約3分
- 見学／随時見学可
- 問／渋川市文化財保護課 TEL 0279-52-2102

ヤマグワ系統の雄木で、樹齢約400年と推定されます。根本から東西2幹に分かれていて、東幹は樹高約9m、目通り約2.1m、西幹は樹高約10m、目通り約2.2mです。葉の芽吹きに先駆けて開花する雄花は、昔は稚蚕の飼料となりました。



18

県重要無形民俗文化財【養蚕】

しもなむろだいだいみかぐら ようさん まい
下南室太々御神楽の養蚕の舞

「養蚕の舞」は下南室赤城神社の太々御神楽で20座ある「興舞(愛嬌舞)」の一つです。近年、身近に見ることができなくなった養蚕を後世に伝える演目として、養蚕飼育の手順やしぐさに至るまでを丁寧に表現しています。

- 場所／渋川市北橋町下南室311
- 交通／JR上越線 渋川駅からバス約20分＋徒歩約10分
関越自動車道渋川I.Cから約15分
- 見学／毎年4月の第1日曜日の例祭で奉納
- 問／渋川市文化財保護課 TEL 0279-52-2102



19

県史跡【養蚕】

ばばしげひさ はか
馬場重久の墓

桃井荘(現吉岡町)に生まれた、江戸時代前期の農学者であり医者。若いころから蚕を細かく観察し、科学的に養蚕を研究しました。研究成果をまとめた『蚕養育手鑑』(1712年)は、民間の蚕書としては国内で最も古いものです。

- 場所／吉岡町北下329-1
- 交通／JR群馬総社駅から車約15分
関越自動車道駒寄PAスマートI.Cから約10分
- 見学／墓参り可能
- 問／吉岡町生涯学習室 TEL 0279-54-3111



20

【養蚕】

かいこじんじゃ せきひ
蚕神社の石碑

石碑には「正徳二年壬辰十一月三太夫重久建立」(1712)と刻まれています。この年は、馬場重久(1663～1735)が養蚕について解説した研究書「蚕養育手鑑」を完成した年であり、重久自身が建てた記念碑と考えられています。

- 場所／吉岡町北下1071-2
- 交通／JR八木原駅から車約10分
関越自動車道駒寄PAスマートI.Cから約10分
- 見学／随時見学可
- 問／吉岡町生涯学習室 TEL 0279-54-3111



21

【養蚕】

わくむすびのかみ せきひ
稚産霊神の石碑

明治20年(1887)5月23日、吉岡町陣場が大雹害に襲われました。桑の木も大被害を受け、蚕に与える桑の葉が無く、蚕を地中に埋めざるを得ませんでした。この石碑は、その時の蚕の霊を慰めるため、明治21年(1888)4月に建立されました。

- 場所／吉岡町陣場137-1
- 交通／JR群馬総社駅から車約15分
関越自動車道駒寄PAスマートI.Cから約5分
- 見学／随時見学可
- 問／吉岡町生涯学習室 TEL 0279-54-3111



22

【養蚕】

わたなべけいじゅうたく
渡辺家住宅

渡辺家住宅は赤い屋根が印象的な養蚕農家で、戦前まで蚕種(蚕の卵)の販売をしていました。高山社の影響を受け、様名型であったものを大正期に大改造し、小屋組みにはキングポストラスを採用、屋根には換気用の3つの越屋根をのせています。

- 場所／佐波郡玉村町大字福島
- 交通／JR新町駅から車約15分
北関東自動車道前橋南I.Cから約10分
- 見学／個人宅のため、非公開 門からの見学可
- 問／玉村町生涯学習課文化財係 TEL 0270-30-6180



養蚕

～蚕を育て繭をつくる～

農家が蚕が食べる桑を育て、蚕を飼って、その繭を出荷する仕事が「養蚕」です。

繭と生糸



製糸

～繭から生糸をつくる～

養蚕農家から購入した繭を煮て、数本の繭の糸を合わせて目的の太さの生糸をつくる仕事が「製糸」です。

織物

～生糸を布に織る～

生糸を染めたり、撚りをかけたあとに布に織りあげるのが「織物」です。絹の織物はしなやかで強く美しい光沢があり、風合いや保温性などに優れています。

